

透析患者受け入れ 下京の病院 内外から年間40人

透析患者受け入れ

下京の病院 内外から年間40人

健康診断や病氣治療などの医療と、ホテル宿泊や観光を組み合わせた「メディカルツーリズム」(医療観光)を開拓する試みが京都で始まっている。

京都武田病院(京都市下京区)は、約5年前から国内外から京都を観光で訪れた透析患者を予約制で受け入れている。透析患者は1週間に3回人工透析が必要とされる。同病院では、海外からの旅行者のために英語通訳スタッフを配置。年間40人近くの利用があるという。

海外から観光で京都を訪れる透析患者を受け入れている京都武田病院。今後とも広く展開していきたいと考えている(京都市下京区)



世界的に有名なタイのバンコク病院と提携を結んだ。

両国を仕事や観光で行き来する人たちの治療を継続して進めることができるという。武田敏也院長は「世界的な観光地京都に、安心して来てもらえるよう、ほかの事業も検討したい」と話す。

同病院によると、アジアの医療観光では、韓国の美容整形、タイの心臓・がん治療などが有名だという。日本政府も2010年、新成長戦略の一つに国際医療交流の推進を掲げ、中国人の富裕層をターゲットに挙げた。同年「国際観光医療学会」も設立されたが、通訳の体制や仕組み作りが整っていない。医療観光を掲げる病院はまだ少ない。

実際の新聞記事

健康診断や病氣治療などの医療と、ホテル宿泊や観光を組み合わせた「メディカルツーリズム」(医療観光)を開拓する試みが京都で始まっている。

京都武田病院(京都市下京区)は、約5年前から国内外から京都を観光で訪れた透析患者を予約制で受け入れている。透析患者は1週間に3回人工透析が必要とされる。同病院では、海外からの旅行者のために英語通訳スタッフを配置。年間40人近くの利用があるという。

今年7月には、医療観光で世界的に有名なタイのバンコク病院と提携を結んだ。両国を仕事や観光で行き来する人たちの治療を継続して進めることができるという。武田敏也院長は「世界的な観光地京都に、安心して来てもらえるよう、ほかの事業も検討したい」と話す。

同病院によると、アジアの医療観光では、韓国の美容整形、タイの心臓・がん治療などが有名だという。日本政府も2010年、新成長戦略の一つに国際医療交流の推進を掲げ、中国人の富裕層をターゲットに挙げた。同年「国際観光医療学会」も設立されたが、通訳の体制や仕組み作りが整っていない。医療観光を掲げる病院はまだ少ない。